



MUSIC SHARING

インターナショナル・コミュニティー・エンゲージメント・プログラム(ICEP)

2008 インドネシア

実施報告書

実施期間 2008 年 12 月 14 日 ～ 12 月 30 日

特定非営利活動法人ミュージック・シェアリング

2009 年 1 月 30 日

目 次

1. 企画概要	1
2. ツアー・スケジュール	2
3. 企画参加演奏家	4
4. 訪問先での活動内容	6
5. 総括	14
6. 参考資料	15
6-1 レクチャー・コンサートでの演奏曲目	15
6-2 会場別参加者数	16

1. 企画概要

ミュージック・シェアリングの理事長、五嶋みどりが企画する「インターナショナル・コミュニティ・エンゲージメント・プログラム (International Community Engagement Program - ICEP)」とは、1993 年より日本国内で行っている活動をアジアの国々に推し進めたもので、普段西洋音楽に触れる機会の少ない子どもたちに生の音楽演奏を届けることにより、子どもたちが音楽を通じてクリエイティビティ、相互理解、向上心を育み自身の視野を広げ、明日への夢を抱くきっかけ作りを提供しています。同時に、世界からオーディションにより選ばれた若手音楽家 3 名が五嶋みどりとカルテットを結成し、本企画に参加することで、音楽における社会貢献活動とはどのようなことなのか、現地の音楽学生とともに実体験を通じて認識していきます。

2006 年のベトナム、2007 年のカンボジアに続き、2008 年 12 月にはインドネシア各地の学校、病院、施設等を訪問し、演奏や楽器体験、そして参加者との交流を図りました。

*ICEP 2008 インドネシア 活動報告会コンサートがプログラムの一環として、2009 年 6 月 8 日大阪、6 月 9 日東京で行われます。

<主催>: 特定非営利活動法人ミュージック・シェアリング
<共催>: 在インドネシア日本国大使館、在メダン日本国総領事館
<協賛>: キッコーマン株式会社、花王株式会社、三井石油開発株式会社
国際石油開発帝石株式会社、全日本空輸株式会社、林原共済会
リッポーグループ、インターコンチネンタル ジャカルタ ミッドプラザ
デヴィ スカルノ、木崎美江子
<助成>: 独立行政法人国際交流基金
<後援>: インドネシア共和国国立教育省、じゃかるた新聞
<協力>: 松野木京子、J2Net、塚田祥子、クローラ財団
<国際交流 協力>: エディ・ウィディオノ
プラカルサ・エカタマ・アドバイザー株式会社
アナンダ・スカルラン

*このほか多くの皆様のご協力を頂きました。

2. ツアー・スケジュール

12月14日(日)		参加演奏家 来日
12月15日(月)～20日(土)		横浜にてリハーサル インドネシアについての勉強会 1(都内) *講師:JICA ジュニア専門員 江頭英二氏
12月21日(日)	11:20 17:05	インドネシアへ出発 ジャカルタ着
12月22日(月)	09:00 11:45 14:00 14:30 17:00 19:00	宿泊先にてリハーサル インドネシアについての勉強会 2(宿泊先) *講師:UNICEF 職員 小島路生氏 カルティニ非常学校 到着 レクチャー・コンサート① カルティニ非常学校 在インドネシア日本国大使公邸 到着 コンサート① 在インドネシア日本国大使公邸コンサート
12月23日(火)	07:45 10:30 20:00	ジョグジャカルタへ移動 国立芸術大学ジョグジャカルタ校(ISI) 到着 伝統楽器体験 マスタークラス、弦楽専攻の学生と交流 リハーサル コンサート② ISI コンサート
12月24日(水)	09:00 10:00 11:30 12:00 14:00 14:30 16:30	インドネシア-キリスト教医療奉仕団(ヤックム) リハビリテーションセンター(障害者施設) 到着 レクチャー・コンサート② ヤックム リハビリテーションセンター 国立第2小学校 到着 レクチャー・コンサート③ 国立第2小学校 アウリア財団(孤児院) 到着 レクチャー・コンサート④ アウリア財団 歴史・文化 見学
12月25日(木)	移動日	空路メダンへ移動 宿泊先にて各自練習
12月26日(金)	09:30 10:30 14:30	ルマ・アナック・マダニ(津波被害児の寄宿泊先) 到着 レクチャー・コンサート⑤ ルマ・アナック・マダニ スンガイ・アイル・ヒドゥップ孤児院 到着

	15:00	レクチャー・コンサート⑥ スンガイ・アイル・ヒドゥップ孤児院
	19:05	ジャカルタへ移動
12月27日(土)	10:00	国立第11中学校 到着
	10:30	レクチャー・コンサート⑦ 国立第11中学校
	14:00	宿泊先にて各自練習
	16:20	ヤヤサン・ムジック・ジャカルタ(音楽学校) 到着
	17:00	コンサート③ ヤヤサン・ムジック・ジャカルタ
12月28日(日)	10:00	ハラパン・キタ病院(心臓病センター) 到着
	10:30	レクチャー・コンサート⑧ ハラパン・キタ病院
	14:30	ムジック・ルマジャ・インドネシア財団 到着 [財団関係のユースオーケストラメンバーと交流]
	15:00	レクチャー・コンサート⑨ ムジック・ルマジャ・インドネシア
	17:30	クラブ ビマセナ到着 ミーティング/リハーサル
	20:00	コンサート④ クラブ ビマセナ [チャリティ・コンサート]
12月29日(月)	10:00	タン・ミヤット(視覚障害者施設) 到着
	10:30	レクチャー・コンサート⑩ タン・ミヤット
	14:00	ヤヤサン・バクティ・ルフール(障害者施設) 到着
	14:30	レクチャー・コンサート⑪ ヤヤサン・バクティ・ルフール 終了後宿泊先にて出発準備
	19:00	空港へ
	22:10	ジャカルタ発
12月30日(火)	07:20	成田着 カルテット解散

宿泊先:

12月15日~20日	林原様 横浜施設
12月21日~22日	インターコンチネンタル ジャカルタ ミッドプラザ
12月23日~24日	アイルランガ ホテル(ジョグジャカルタ)
12月25日	アリアドゥータ ホテル メダン
12月26日~29日	インターコンチネンタル ジャカルタ ミッドプラザ

3. 企画参加演奏家

<ミュージック・シェアリング ICEP カルテットメンバー>

五嶋みどり (Midori Goto) – ヴァイオリン



Photo: Tomokazu Nishizwa

1982年、ニューヨークフィルとの共演でデビュー以来、多くの著名な指揮者、演奏家と共演し、世界各地で幅広い演奏活動を続けている。年間約70回の演奏活動だけでなく、コミュニティー・エンゲージメント(社会活動)にも積極的に取り組み、1992年ニューヨークで子どもたちのための非営利団体Midori & Friendsを設立したのを皮切りに、日本では特定非営利活動法人ミュージック・シェアリングを設立。その他目的に合わせてさまざまなプロジェクトを立ち上げ、日米を中心に活動を展開している。2004年、南カリフォルニア大学(USC)ソーントン音楽学校の「ハイフェッツ・チェアー」に就任。2006年からは弦楽学部長も兼任。2007年9月より国連平和大使に就任。CDはソニー・クラシカルよりリリース。使用楽器はガルネリ・デルジェス「エクス・フーバルマン」(1734年作)で、社団法人林原共済会より終身貸与されている。ミュージック・シェアリング理事長。

ティー・クーン・タン(Tee Khoon Tang) – ヴァイオリン



Photo: Nick James

シンガポール出身。ロンドン在住。12歳の時に、シンガポール国立大学シンフォニーオーケストラとの共演でデビュー。ボストンのニューイングランド音楽院及びロンドンのギルドホール音楽院を卒業。日本を含むアジア、オーストラリア、ヨーロッパ、アメリカ各地で演奏活動を行う。2005年、東西国際アーティスト・オーディションに優勝後、カーネギーのウェイル・リサイタルホールにてデビューリサイタルを行う。使用楽器はミケランジェロ・ベルゴンツィ(1757年作)で、個人コレクターより貸与されている。

カーメン・フローレス(Carmen Flores) – ヴィオラ



Photo: Malin Widstrand

アメリカ出身。ロンドン在住。ニューハンプシャーのダートマス大学にて、音楽及び地理学を学んだ後、ミシガン大学とトロント王立音楽院にて学び、米国、カナダ、アジア、欧州で演奏活動を行う。2000年にフルブライト奨学金を受け、フィリピンにおける音楽的遺産の研究をする。現在、英国ロイヤル・バレエ・シンフォニアの首席ヴィオリストを務め、室内楽奏者としても活躍している。

マーチン・スミス(Martin Smith) –チェロ



©Martin Smith

オーストラリア出身。ライブチヒ在住。8歳でチェロを始め、シドニーにてウジィ・ウィーセルに師事。現在は、ナターリヤ・グートマンに師事。オーストラリア、欧州、北米で数々のオーケストラや室内楽と共演し、レオン・フライシャーやコリヤ・ブラッハーとも共演する。近々、オランダやドイツにおけるリサイタルや、日本及び中国での演奏会が予定されている。彼の演奏は BBC、デンマーク・ラジオなどで放送された。

<現地参加メンバー(ジョグジャカルタ)>

国立芸術大学ジョグジャカルタ校(Institut Seni Indonesia Yogyakarta-ISI Yogyakarta*)
学生カルテット

(12月24日の3か所のレクチャー・コンサートに参加)

ダニー・アルティヤサント(Danny Artyasanto) –ヴァイオリン

オスカル・アルトゥネス(Oscar Artunes. R.) –ヴァイオリン

サガフ・ファオザタ(Sagaf Faozata A.) –ヴィオラ

ドウウィパ・ハンガナ・プラタラ(Dwipa Hanggana Pratata) –チェロ



ICEP カルテットと ISI カルテット (アウリア孤郡宛て 08/12/24)

国立芸術大学ジョグジャカルタ校(Institut Seni Indonesia Yogyakarta-ISI Yogyakarta)は本報告書での略称を便宜上 ISI とする。

4. 訪問先での活動内容

【12月22日 ジャカルタ】

レクチャー・コンサート①

訪問先: カルティニ非常学校 (Sekolah Darurat Kartini)

Ms. RosiとMs. Rianの姉妹が私財を投じて運営する屋根と柱だけの仮設の学校。公立の学校にも通うことができない低所得者層の子どもたち(小学生から高校生まで)が学ぶ。姉妹の他に8名のボランティアの教師が各学年の授業を担当。

開演時間: 14:30

参加者: 約200名

曲目: 6-1 参照

特記: ICEP カルテットの演奏後、子どもたちによるアングロン(西ジャワ地方の民俗楽器)の演奏あり。



コンサート①

主催: 在インドネシア日本国大使館

会場: 在インドネシア日本国大使公邸

開演時間: 19:00

参加者: 約100名

曲目: ハイドン 弦楽四重奏曲 ハ長調 Op.54 No.2, Hob.Ⅲ:57

スカルラン ロンターノ (*ワールドプレミア)

ドビュッシー 弦楽四重奏曲 ト短調 Op.10

特記: インドネシア政府要人、各国大使、ヤヤサン・ペンディディカン・ムジック音楽学校 (Sekolah Musik: Yayasan Pendidikan Musik) の生徒たち、邦人企業関係者などが招待された。演奏後生徒たちとの意見交換が行われた。その後、来場者と懇談。



【12月23日 ジョグジャカルタ】

マスタークラス

訪問先：国立芸術大学ジョグジャカルタ校 (ISI)

このプログラムのために結成された学生カルテット (ISI カルテット) を対象に、各々のパートとアンサンブルの技術指導を行った。

伝統楽器体験

ICEP カルテットのメンバーは ISI で伝統音楽専門の教師たちによるガムラン演奏を鑑賞。その後、楽器について質疑応答、楽器体験を行った。



コンサート②

会場：国立芸術大学ジョグジャカルタ校 (ISI)

開演時間：20:00

参加者数：約 200 名

曲目：<ICEP カルテット>

シューベルト 弦楽四重奏曲 第 12 番 ハ短調 D.703「四重奏断章」

モーツァルト セレナード 第 13 番 ト長調 K. 525 「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より 第 1 楽章

スカルラン ロンターノ (*ワールドプレミア)

ハイドン 弦楽四重奏曲 ハ長調 Op.54 No.2, Hob.Ⅲ:57

<ISI カルテット>

スメタナ 弦楽四重奏 ホ短調 「わが生涯より」 第 1 楽章

<ISI 弦楽専攻学生 (70 名)>

モーツァルト 交響曲 第 29 番 イ長調 K.201 第 1 楽章、第 4 楽章

特記：ICEP カルテット、ISI カルテットの他に、弦楽専攻の学生も参加し、大学生対象のコンサートを開催。



【12月24日 ジョグジャカルタ】

ISI カルテットが ICEP カルテットと共に、3 施設(リハビリテーションセンター、小学校、孤児院)でレクチャー・コンサートを行った。2 組のカルテットが交互に演奏し、最後に合同でモーツァルトの「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より第 1 楽章を演奏。

レクチャー・コンサート②

訪問先: インドネシア-キリスト教医療奉仕団 リハビリテーションセンター
(Pusat Rehabilitasi YAKKUM)

インドネシア-キリスト教医療奉仕団(ヤックム)が運営。障害を持ち、かつ貧困層にある子どもから青年までが機能訓練、職業訓練、心理ケア、教育などのサービスを受けている。

開演時間: 10:00

参加者数: 約 100 名

曲 目: 6-1 参照

特 記: クリスマス会で、2 組のカルテットはメインゲストとして演奏。ISI カルテットは初めてのレクチャー・コンサートを体験。



レクチャー・コンサート③

訪問先: 国立第 2 小学校

開演時間: 12:00

参加者数: 約 180 名

曲 目: 6-1 参照

特 記: 近隣の 2 施設への訪問決定後、学校側から是非コンサートをして欲しいというリクエストがあり、24 日のスケジュールを調整し昼の時間帯に訪問。保護者や近隣の一般の人々は、教室の外で鑑賞。



レクチャー・コンサート④

訪問先: アウリア財団(Yayasan Aulia) 孤児院
ジャカルタのスラム地域で生まれた孤児がジョグジャカルタで暮らしている。

開演時間: 14:30

参加者数: 約 80 名

曲 目: 6-1 参照

特 記: 2 組のカルテットの演奏の後、
子どもたちが歌と踊りを披露。



歴史・文化 見学

見学先: プランバナ寺院群及びラーマヤナ舞踊鑑賞

3 施設訪問後見学した、世界遺産の一つであるプランバナ寺院群は、2006年5月のジャワ島中部地震の被害を受け修復中。寺院群見学後、伝統舞踊であるラーマヤナ舞踊を鑑賞。



(写真: Music Sharing)

【12月25日 移動日】

午前中にジョグジャカルタ空路メダンへ。午後は宿泊先で練習を行った。

【12月26日 メダン】

レクチャー・コンサート⑤

訪問先： ルマ・アナック・マダニ(Rumah Anak Madani) 寄宿舍

2004年のアチェの大津波の後にできた施設。毎年行われ学力試験により選抜された優秀な被災者の子どもや孤児が入寮でき、学力を維持できない者は退寮を余議なくされる。

開演時間： 10:30

参加者数： 約350名

曲 目： 6-1 参照

特 記： ICEPカルテットの演奏の後、民族衣装を着けた子どもたちのダンスや寸劇が披露された。



レクチャー・コンサート⑥

訪問先： スンガイ・アイル・ヒドゥップ孤児院(Panti Asuhan Sungai Air Hidup) 郊外の田園地域にある。

開演時間： 15:00

参加者数： 約90名

曲 目： 6-1 参照

特 記： コンサートは屋根付きのオープンスペースで始まり、楽器体験の後、雨が降り始めたため屋内に移動。ICEPカルテットの演奏後、子どもたちが歌やダンスを披露。



2か所でのレクチャー・コンサートの後、約1時間メダンの街を見物し、ジャカルタへ。

【12月27日 ジャカルタ】

レクチャー・コンサート⑦

訪問先： 国立第11中学校

開演時間： 10:30

参加者数： 約150名

曲 目： 6-1 参照

特 記： 学校は年末の休暇中であったが、約150名の生徒・家族が参加。ICEPカルテットの演奏後、子どもたちの演奏や歌などが披露された。



コンサート③

訪問先： ヤヤサン・ムジック・ジャカルタ (Yayasan Musik Jakarta)

1983年にDr. Yeoにより設立された私立の音楽学校。3歳から大学生までが西洋音楽を学んでいる。

開演時間： 17:00

参加者数： 約100名

曲 目： <ICEPカルテット>

ハイドン 弦楽四重奏曲 ハ長調 Op.54 No.2, Hob.Ⅲ:57

ドビュッシー 弦楽四重奏曲 ト短調 Op.10

<インドネシア伝統音楽>

ブブカ・ジパン・ロンタン (Bubuka Jipang Lontang) 他

(歌とカチャピ(Kacapi)という箏とスリン(Suling)という竹笛で伴奏する声楽アンサンブル)

<ヤヤサン・ムジック・ジャカルタ>

クライスラー プレリユードとアレグロ

(Mr. Jap Tji Kien-ヴァイオリン、Dr. Kuei Pin Yeo-ピアノ)

特 記： プロのインドネシア伝統音楽家による演奏もあり、最後に参加者全員の意見交換が行われた。



【12月28日 ジャカルタ】

レクチャー・コンサート⑧

訪問先: ハラパン・キタ病院 心臓病センター(National Cardiovascular Center, Harapan Kita)

同センターでは、乳児から大人までが心臓病の治療を受けている。

開演時間: 10:30

参加者数: 約70名

曲 目: 6-1 参照

特 記: 受付前のスペースにおいて短時間のコンサートを子どもと大人の患者を対象に2か所で開催。集中治療室2か所でも演奏を行った。



レクチャー・コンサート⑨

訪問先: ムジック・ルマジャ・インドネシア (Musik Remaja Indonesia)

音楽と若者の支援を対象とした非営利団体。ユースオーケストラ (Sekolah Musik Indonesian Youth Orchestra) をサポートしている。

開演時間: 15:00

参加者数: 約100名

曲 目: 6-1 参照

特 記: 会場は、音楽療法に使われている住宅。ユースオーケストラに参加している約30名の子どもたちと家族が ICEP カルテットと演奏や意見交換をした。



コンサート④

主催: プラカルサ・エカタマ・アドバイザー株式会社 (PT. Prakarsa Ekatama Advisory)

会場: クラブ ビマセナ (Grha BIMASENA)

鉱物・エネルギー関係者のための会員制クラブ

開演時間: 20:00

参加者数: 約150名

曲 目: シューベルト 弦楽四重奏曲 第12番 ハ短調 D.703「四重奏断章」
ドビュッシー 弦楽四重奏曲 ト短調 Op.10

特 記: インドネシアの音楽教育支援のための寄付を募ることを目的に、入場無料のコンサートが開催され ICEP カルテットが演奏した。当日はプルノモ・エネルギー鉱物資源相も来場し、会場は満席となった。聴衆から寄せられた募金は全額、インドネシアの音楽教育のために使われる。



【12月29日 ジャカルタ】

レクチャー・コンサート⑩

訪問先： タン・ミヤット(Tan Miyat) 視覚障害者施設

視覚障害者のための職業訓練校の一つ。7～35歳の視覚障害者が寮生活をしながらか社会参加のための教育及び訓練を受けている。広い敷地には訓練施設や寮が点在している。ここでは、訓練の一つとして指圧も教えている。

開演時間： 10:30

参加者数： 約150名

曲 目： 6-1 参照

特 記： 施設側がこの日は特別なコンサートの日として来賓や家族、メディアを多数招き、コンサートの前に長時間の式典を行った。ICEP カルテットの演奏後、施設の人々による様々な大きさの竹製のアンクロンと ICEP カルテットが「ブンガワンソロ」を合奏した。



レクチャー・コンサート⑪

訪問先： バクティ・ルフル財団(Yayasan Bhakti Luhur) 障害者施設

障害のある子供たちが治療や教育を受けている。建物内には寮も併設されている。

開演時間： 14:30

参加者数： 約50名

曲 目： 6-1 参照

特 記： コンサートは施設側の希望で取材など外部からの見学者もなく、施設関係者のみで行われた。ICEP カルテットの演奏後には、子どもたちの歌などが披露された。



(写真:小田哲明)

5. 総括

日本・インドネシア友好年の 2008 年にインドネシアを訪問し、小・中学校、大学、病院、障害者施設、孤児院、音楽学校などで約 1600 名人の子どもたちや関係者と音楽を通して交流できたことは有意義であった。

現地を訪問し改めて多くの人々がインドネシアにおける西洋音楽の普及と指導者や演奏家などを教育する必要性を感じていることがわかった。本企画により各施設で実施したコンサートに加えて、12 月 28 日のチャリティ・コンサートにおける募金総額 IDR63,650,000(約 50 万円)が全額、現地の音楽教育のために使われることは、インドネシアの音楽教育の向上のみならず、二国間の友好を促進する一助となるであろう。

6. 参考資料

6-1 レクチャー・コンサートでの演奏曲目

訪問先に合わせて下記より抜粋

- ・シューベルト 弦楽四重奏曲 第 12 番 ハ短調 D.703「四重奏断章」
- ・ハイドン 弦楽四重奏曲 ハ長調 Op.54 No.2, Hob.Ⅲ:57
- ・ドビュッシー 弦楽四重奏曲 ト短調 Op.10
- ・モーツァルト セレナード 第 13 番 ト長調 K. 525 「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より第 1 楽章
- ・チャイコフスキー 組曲「くるみ割り人形」より 花のワルツ
- ・岡野貞一 朧月夜
- ・スカルラン ロンターノ
*ワールドプレミア

6-2 会場別参加者数

訪問日	都市	訪問先	参加者数
12月22日 月	ジャカルタ	カルティニ非常学校 Sekolah Darurat Kartini	200
	ジャカルタ	在インドネシア日本国大使公邸 Official residence of Japanese Ambassador to the Republic of Indonesia	100
12月23日 火	ジョグジャカルタ	国立芸術大学 (ISI) ジョグジャカルタ校 Institut Seni Indonesia Yogyakarta (ISI)	200
12月24日 水	ジョグジャカルタ	インドネシア-キリスト教医療奉仕団(ヤックム) リハビリテーションセンター Pusat Rehabilitasi YAKKUM	100
	ジョグジャカルタ	国立第2小学校 SD Negeri 2 Pakem	180
	ジョグジャカルタ	アウリア財団(孤児院) Yayasan Aulia (orphan asylum)	80
12月26日 金	メダン	ルマ・アナック・マダニ(寄宿舎) Rumah Anak Madani (dormitory)	350
	メダン	スンガイ・アイル・ヒドゥップ孤児院 Panti Asuhan Sungai Air Hidup	90
12月27日 土	ジャカルタ	国立第11中学校 SMP Negeri 11 Jakarta	150
	ジャカルタ	ヤヤサン・ムジック・ジャカルタ(音楽学校) Yayasan Musik Jakarta	100
12月28日 日	ジャカルタ	ハラバンキタ病院(心臓病センター) National Cardiovascular Center, Harapan Kita	70
	ジャカルタ	ムジック・ルマジャ・インドネシア(ユース・オーケストラ) Musik Remaja Indonesia (Youth Orchestra)	100
	ジャカルタ	クラブ ビマセナ Grha Bimasena	150



特定非営利活動法人 ミュージック・シェアリング

〒101-0065 東京都千代田区西神田 3-3-6 九段オーシャンビル 3 階

TEL:03-3261-1855 FAX:03-3261-1856

E-mail : musicsharing@dolphin.ocn.ne.jp URL:<http://www.musicsharing.jp/>